

交渉結果報告書

市長公室人事課

交渉内容 2024年春闘要求書の回答等について

交渉日時 令和6年4月24日(水) 15時10分～17時30分

交渉場所 本庁舎 8階大会議室

交渉出席者 当局側 川口副市長 秋元市長公室長 蒲原市長公室副部長 岡野人事課長
足立人事課副課長 山村人事研修係長 加島給与係長

組合側 福田執行委員長 副執行委員長 書記長 書記次長他執行委員等 計 6人

概要	2024年春闘要求書の回答書提出等を行った
組合の主張	<p>今年の人事院勧告では、民間の賃上げを受けて給料表の増額改定が見込まれる一方で、地域手当や扶養手当が見直される方向とのこと。宇治市は国家公務員や京都府に追随するだけでなく、実態を見て必要なところを手厚くするなど、独自の判断を検討してほしい。</p> <p>ファミリーサポート休暇について、改善可能なものについては検討したいとのことだが、具体的な考えはあるか。</p> <p>近年メンタルの不調を原因とした休職が増加していることは明らかであり、それに伴い職場の負担も増加している。そういったことも見据えて、余裕を持った人員配置を考える必要があるのではないかと。</p> <p>作業技師の削減について、当局としての今後の方向性は。</p>
当局の主張	<p>人事院勧告は、民間調査を経て世間の実態に合わせる方向の改定を行う。いずれにせよ、給料や手当の改定は職員の生活に大きく影響するとともに、人件費にも大きな影響を及ぼすものであり、勧告を注視し、内容を精査してどうすべきか検討したい。</p> <p>昨年度から課題に上がっている、障害のある子を持つ職員に対する部分などについて、どのようなことができるか検討している。</p> <p>休職者が出ることを前提とした人員配置、定数反映は難しい。現状に対してどのように手立てするか、現場に寄り添って検討したい。</p> <p>方向性については昨年度に示しており、変更するつもりはない。一方で、職場環境に関わる部分については、諸課題がある事も認識しており、可能な限り各職場で議論を進めたい。</p>